

71期生 進路だより

No. 16

『腰をじっくり据えて・・・』

進路について考える⑨

特別支援学校を知ろう

日本国憲法

第26条 すべての国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

この社会は色々な人によって成り立っています。その中には、心や体に障がいがある人もいます。体が不自由で車いすで移動する人、目や耳の不自由な人、知識や技能を身に付けることに時間が長くかかる人、自分の気持ちや感情を他の人に伝えるのがちょっと苦手な人、病気がちで日常生活を過ごすのに特別な配慮が必要な人などです。そうした人々も社会の一員として、働くことによって社会とつながり、そして社会を支えていきたいと願っています。

憲法26条にあるように、すべての人々は等しく教育を受ける権利があります。障がいのある人も、その障がいに応じた教育を受ける権利があります。そして社会の一員として働く権利と義務があります。

障がいのある人も学び、社会の一員としての能力や技能を身につけていくための学校が設置されています。それが、特別支援学校とよばれている学校です。

近隣の特別支援学校を紹介しておきます。

大阪府立泉北支援学校	堺市南区原山台2丁6番
大阪府立和泉支援学校	和泉市池上町755番地の1
大阪府立岸和田支援学校	岸和田市土生町5-9-1
大阪府立佐野支援学校	泉佐野市日根野375
大阪府立泉南支援学校	泉南市馬場3-1566
大阪府立堺聴覚支援学校	堺市北区百舌鳥陵南町1丁

また、府立柴島高校、府立松原高校、府立堺東高校、府立貝塚高校、府立園芸高校、大阪市立東淀川工業には『知的障がい生徒自立支援コース』が設置されていて、障がいがある生徒も高校で学ぶことができます。また府立すながわ高等支援学校の共生推進教室が府立久米田高校、信太高校内に設置されています。

深刻になるな！真剣になれ！

今日から懇談が始まります。71期生のそれぞれが色々な思いを抱いていると思います。懇談があるからだと思いますが、このごろよくこんな質問を受けます。「先生、この成績だったら、〇〇高校行ける？」「先生、僕の成績で行ける高校どこですか？」

みんな、進路の事を考えてきたようですね。

なかには「この成績だったら△△高校行かれへんわ。そうでしょ。」なんていう深刻な相談も受けます。

懇談を前に早くも進路変更？を考えている人もいるようです。でも、本当にそれでいいのかな？

確かに、学校の成績は進路を決める大きな要因です。成績が悪ければ進路選択の幅も小さくなります。でも、1学期の成績が悪かったからといって、安易に自分の進路(目標)を変更する事が本当にいいことなのでしょうか？

一週間後から夏休みが始まります。40日以上長いお休み。この期間を自分の進路(目標)の実現のために最大限に利用してください。

1学期の成績が悪かったら、夏休みにがんばればいいのです。今が悪ければ、次を目指すこと。結果というものはすぐのは出ません。だからこそ努力の価値があるのです。

今71期生の一人ひとりに求められているのは、まず自分の進路をきちんと見つめることです。将来、自分がどういう職業に就きたいか、そのために中学卒業後どういう進路を目指すべきなのかを。そして自分の進路を実現するために、今、何をなすべきなのかを真剣に考え、そして努力を重ねることです！

くじけるな、がんばれ71期生！

先生たちの切なる思いです。

学校見学会・体験授業の案内

国立和歌山工業高等専門学校

日時	平成29年8月27日(日) 10:00~15:00
場所	和歌山工業高専(和歌山県御坊市名田町野島77)
内容	オープンキャンパス 公開講座
持ち物など	制服着用 筆記用具 上靴 下履き入れ
申し込み	オープンキャンパスは申し込み不要です。また公開講座に興味がある人はHPを見てください。詳しくは出口まで問い合わせてください。
その他	8月26日~27日に一泊で高専進学を考えている女子中学生向けの行事があります。詳しくは出口まで

(裏面に続く)